

## セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCの認証を取得しました。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全対策、交通安全対策、防犯、スポーツの安全対策、乳幼児の安全対策の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

## 冬に多くなるけがや事故に気をつけましょう！

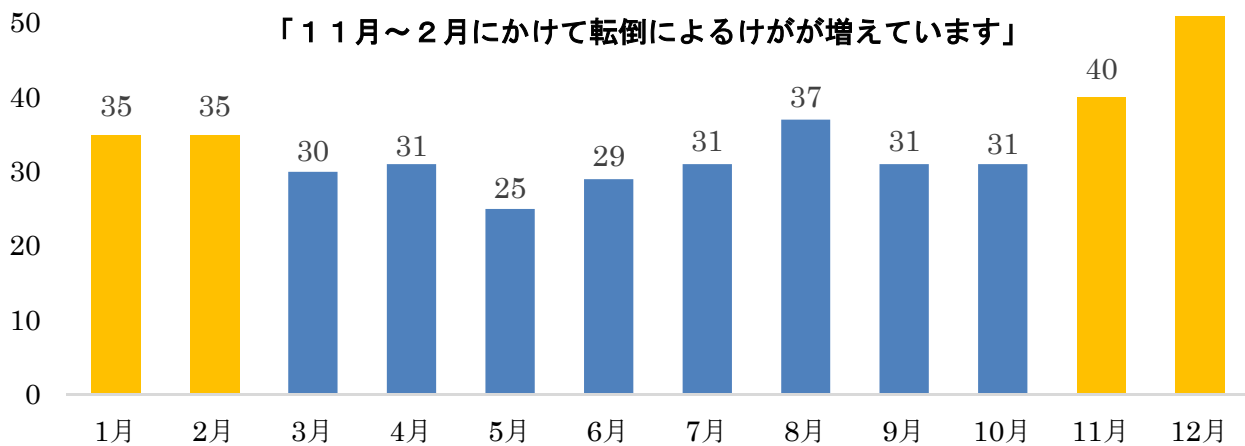
冬は、気温が低下し道路が凍結することで、足を滑らし転倒することや、車がスリップして事故となってしまうことがあります。

また、暖房器具の使用が増えることで火傷や火事のリスクも増加します。

そのため今一度、身の回りをチェックし、**安全な環境づくりとゆとりのある行動を心がけましょう！**

(件) 60

転倒による救急搬送件数(月別)



出典：亀岡消防署救急搬送データ(2019)

## 自転車盗難防止・マナーアップに関する啓発を実施



10月12(月)、19日(月)に亀岡高校・亀岡中学校・南丹高校・亀岡川東学園において、自転車盗難防止とマナーアップに関する啓発活動を実施しました。

今年は昨年に比べると自転車の盗難被害が増加しています。

盗難を防ぐ一番の方法は、やはり「カギをかけること」です。自転車を止める際は、カギかけを徹底しましょう！

## ドライブレコーダーによるまちの見守り活動が進んでいます



本市では、市内の各企業や団体が保有するドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として活用し、まちの見守り活動を実施しています。10月21日には、新たに4社（南桑土木建築株式会社、京都中部広域消防組合、京都中央信用金庫、ヤマト運輸株式会社）と協定を締結させていただきました。これで、協定締結団体数は18社、見守りをさせていただく車の台数は557台となりました。また、市民の皆さんに同様の取り組みに参加いただく「まち・レコプロジェクト」は現在223人、303台のボランティア協力をいただいています。市では、今後も協力いただける企業や団体、市民の方を積極的に増やし、まちの見守りを更に強化していきます。

まち・レコプロジェクトの登録は、  
QRコードを読み取るか、  
市役所自治防災課にお尋ねください。



登録いただいた方には車に貼るステッカー  
をお渡しします。



## 亀岡警察署から保育所に防犯DVDが贈呈されました



10月19日、川東保育所において亀岡警察署が作成された「防犯DVD」の贈呈式が行われました。今年度は、新型コロナウイルスの影響により防犯教室の開催が困難なことから、園児に対して間接的に啓発ができるようにとDVDを作成されました。